

第2回 皮膚褥瘡外用薬学会 学術集会 開催概要・プログラム

テーマ	外用療法がチーム医療の未来を変える
会 期	2020年2月16日(日) 8:50-17:40
会 場	名城大学薬学部 〒468-8503 愛知県名古屋市天白区八事山 150
大会長	坪井 憲江 (医療法人並木会 並木病院 薬剤部)
実行委員長	小池 真智子 (医療法人並木会 並木病院 薬剤部)
実行委員	飯田 純一、門脇 寛篤、定岡 摩利、野原 葉子、舛甚 路子、青山 明弘 荒木 玲子、森川 拓、飯島 尚子、飯田 耕太郎、石原 祥史、木全 司、 高尾 雄介、長谷 伸一、藤田 政弘、古田 和也、前嶋 利江、松平 尚希、 山崎 崇、吉澤 明子
学会参加費 (税込)	学会会員 3,000円 非会員 5,000円 学生 1,000円
各種認定	※日病薬病院薬学認定薬剤師制度と日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度 の認定はいずれかのお渡しとなります。 日本褥瘡学会 認定師(更新) 5点 日本病院薬剤師会 日病薬病院薬学認定薬剤師制度 4単位 日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度 3単位 日本老年薬学会 4単位 日本医師会生涯教育制度(プログラム:カリキュラムコード 単位数) 代表講演:10 チーム医療 1単位 教育講演2:26 発疹 0.5単位 特別講演:80 在宅医療 1単位 ハンズオンセミナー1:13 医療と介護及び福祉の連携 1.5単位 ハンズオンセミナー2:13 医療と介護及び福祉の連携 1単位 ランチオンセミナー1:58 褥瘡 0.5単位 ランチオンセミナー2:26 発疹 0.5単位 外用薬処置実習:58 褥瘡 1.5単位 ワークショップ:58 褥瘡 1単位

主 催	NPO 法人褥瘡サミット 皮膚褥瘡外用薬学会
後 援	日本病院薬剤師会、日本薬剤師会、日本女性薬剤師会、全国薬剤師・在宅療養支援連絡会、日本老年薬学会、日本在宅薬学会、日本介護福祉士会、愛知県医師会、愛知県病院薬剤師会、愛知県薬剤師会、愛知県看護協会、愛知県理学療法士会、愛知県介護福祉士会、岐阜県薬剤師会、岐阜県病院薬剤師会、三重県病院薬剤師会、三重県薬剤師会、千葉県病院薬剤師会
学術集会 事務局	並木病院 薬剤部 〒468-0013 愛知県名古屋市天白区荒池 2-1101
運営事務局	東京医科大学病院 薬剤部 関根 祐介 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-7-1

大会長挨拶

この度、第2回皮膚褥瘡外用薬学会学術集会大会長を務めることとなりました。この会は2015年3月に第1回外用療法研究会として発足して以来、今年で6回目を迎えることが出来ました。これはひとえに歴代大会長を務められた先生方のご尽力であると敬意を称します。

今回、学会代表である古田勝経先生お膝元名古屋での開催で、大会長の任に当たらせていただくことは、大変光栄であると同時に責任の重さを感じざるを得ません。これまで学会に携わってこられた先生方、製薬会社はじめ多くの企業様、また名城大学薬学部卒業生の皆様からも多大なるご支援を頂きましたことは大変心強いものでありました。この場をお借りして深く感謝申し上げます。

さて、今回のテーマ『外用療法がチーム医療の未来を変える』は、以前、代表古田先生から掛けられた「褥瘡は特定の職種だけが取り組むものではありません。…全員野球で取り組んで下さい。」の言葉を礎に慢性期医療に携わってきた私の経験、実感そのものです。

地域包括ケアシステムが推進される昨今、難治性創傷や褥瘡など外用薬などを用いた外用療法においては自施設のみならず、施設間とその多職種間で連携していけるだけの専門性が必要であります。職種間で情報を共有しながらお互いの考えを理解し合い、立場を尊重しながら協働で取り組む力が融合してこそ One team になるためのチーム力の基盤となっていくものと考えます。

特に我々薬剤師は医師や看護師など多職種の中で何を求められ、何をすべきか、どう関わっていけば良いのでしょうか？今回はそのヒントが詰まったスキルアップと明日から実践に生かせるプログラムを企画することができたのではないかと自負しております。

歴史はまだ浅い学会ではありますが、回を重ねるごとに在宅や病院、施設などの臨床現場で活躍する薬剤師も増えつつあります。本学術集会が今後更なる学会の発展へとつながり、実践力のある仲間が益々増えていく会となることを切に願っております。

日程表

時間	新1号館 7階ライフサイエンス ホール 第1会場	新1号館 4階402講義室 第2会場	新1号館 1階117講義室 第3会場	7号館 2階実習室 第4会場	新1号館 4階403講義室 ポスター会場	新1号館 4階・7階 企業展示	時間
8:00							8:00
30							30
	開会式 8:50～9:00						
9:00					ポスター貼付 8:00～10:00		9:00
30	代表講演 座長:大谷 道輝 演者:古田 勝経 9:00～10:00(60分)						30
10:00							10:00
30	教育講演1 座長:二村 昭彦 演者:大井 一弥 10:10～11:00(50分)	教育講演2 座長:関根 祐介 演者:袋 秀平 10:10～11:00(50分)	ハンズオンセミナー1 (ポジショニング) 座長:飯田 純一 講師:近藤 龍雄 10:10～11:40(90分)		ポスター閲覧 10:00～11:10		30
11:00							11:00
30					一般演題 (ポスター発表) 座長:川崎 美紀 11:10～12:10(60分)		30
12:00							12:00
30	ランチョンセミナー1 座長:狭間 研至 演者:古田 勝経 12:30～13:15(45分)	ランチョンセミナー2 座長:木全 司 演者:榊原 代幸 12:30～13:15(45分)				企業展示 9:00～16:30	30
13:00							13:00
30	シンポジウム 多職種の見点から 皮膚褥瘡外用薬を 考える 座長:宮川 哲也 演者:磯島 寿人 馬場 真子 舩基 路子 孫 麻美子 掛樋 和巳 13:30～15:00(90分)						30
14:00				外用剤処置実習 (外用薬の使い方) 座長:武藤 理恵 講師:古田 勝経 13:30～15:00(90分)	ポスター閲覧 12:10～16:15		14:00
30							30
15:00							15:00
30	一般演題 (口頭発表) 座長:青山 明弘 15:15～16:15(60分)		ハンズオンセミナー2 (オムツ関連) 座長:野原 葉子 講師:宇野 あゆみ 15:15～16:15(60分)	ワークショップ (症例検討) 座長:門脇 寛篤 講師:古田 勝経 15:15～16:15(60分)			30
16:00							16:00
30	特別講演 座長:坪井 憲江 演者:狭間 研至 16:30～17:30(60分)				ポスター撤去 16:15～17:30		30
17:00							17:00
30	閉会式 17:30～17:40						30

第2回皮膚褥瘡外用薬学会学術集会日程

(第1会場)

8:50~9:00 開会式

9:00~10:00 代表講演

座長 杏雲堂病院 薬剤科 大谷 道輝

「褥瘡治療は外用薬の使い方が重要～チーム医療で効果的に治す方法～古田メソッド」

小林記念病院 褥瘡ケアセンター長 古田 勝経

10:10~11:00 教育講演1

座長 藤田医科大学七栗記念病院 薬剤課

二村 昭彦

「生体内外の諸因子に影響を受ける皮膚生理機能」

鈴鹿医療科学大学薬学部 病態・治療学分野 臨床薬理学研究室 教授 大井 一弥

12:30~13:15 ランチョンセミナー1

座長 ファルメディコ株式会社/医療法人嘉健会 思温病院 理事長 狭間 研至

「褥瘡を早くきれいに治す外用薬の使い方～キチン綿を用いた薬剤滞留と創固定～」

小林記念病院 褥瘡ケアセンター長 古田 勝経

13:30~15:00 シンポジウム 「多職種の見点から皮膚褥瘡外用薬を考える」

座長 上越地域医療センター病院 薬剤科 宮川 哲也

演者 協立クリニック 在宅医長

磯島 寿人

JA 愛知厚生連江南厚生病院 皮膚・排泄ケア認定看護師

馬場 真子

一般社団法人あおもり健康企画

舩甚 路子

株式会社ファーコス ファーコス薬局 中央

孫 麻美子

メディコ春日井 通所リハビリテーション

掛樋 和巳

15:15~16:15 一般演題(口頭発表) 座長 三菱重工業名古屋健康管理グループ 青山 明弘

O-01 薬剤師による在宅患者の褥瘡治療への介入

すずらん薬局 五條店 喜多 好子 ほか1名

O-02 多職種連携により短期間で改善し、地域包括ケア病棟から在宅復帰した褥瘡の一例

医療法人並木会 並木病院 神経内科 木村 彰宏 ほか7名

O-03 低栄養状態で大小 11ヶ所の褥瘡を持ち込まれチームが機能し改善した症例

医療法人博愛会 京都病院 薬局 杉山 信博

O-04 薬剤師がシニアレジデントへ褥瘡処置や治療薬を助言することへのアンケート結果の報告

吾妻さくら病院 薬局 門脇 寛篤 ほか 1名

O-05 褥瘡処置薬剤・被覆保護剤について、看護師はどこまで理解できている？

～薬剤師は何をすべきか～

宇野病院 薬剤科 柴田 理恵 ほか 5名

O-06 外来における医師と薬剤師の協働が難治性皮膚潰瘍に奏功を示した症例について

医療法人嘉健会 思温病院 薬剤部 山本 千尋 ほか 4名

16:30～17:30 特別講演

座長 並木病院 薬剤部 坪井 憲江

「薬剤師が変われば、在宅褥瘡治療が変わる」

ファルメディコ株式会社/医療法人嘉健会 思温病院 理事長 狭間 研至

17:30～17:40 閉会式 (Closing Remarks)

(第2会場)

10:10～11:00 教育講演2

座長 東京医科大学病院 薬剤部 関根 祐介

「在宅でよく見る皮膚疾患～外用療法を中心に」

ふくろ皮膚科クリニック 院長 袋 秀平

12:30～13:15 ランチョンセミナー2 座長 名古屋第二赤十字病院 薬剤副部長 木全 司

「高齢者で注意すべき皮膚疾患～皮脂欠乏症・帯状疱疹～」

名古屋第二赤十字病院 皮膚科部長 榊原 代幸

(第3会場)

10:10~11:40 **ハンズオンセミナー1** 座長 濟生会横浜市南部病院 飯田 純一
「身体の構造に基づくポジショニングの基本 ~気持ちいい姿勢保持を体験しましょう~」
飯田市立病院 地域医療部 訪問看護ステーション 近藤 龍雄

15:15~16:15 **ハンズオンセミナー2** 座長 チューリップ薬局 野原 葉子
「おむつの中の“ズレ”を意識した商品選定とあて方」
ユニ・チャーム株式会社 宇野 あゆ美

(第4会場)

13:30~15:00 **外用剤処置実習** 座長 武藤 理恵
「褥瘡治療用外用薬の実技指導」
小林記念病院 褥瘡ケアセンター長 古田 勝経

15:15~16:15 **ワークショップ(症例検討)** 座長 吾妻さくら病院 薬局 門脇 寛篤
「ぶっつけ本番!! この褥瘡はどうすればいいの?!」
~褥瘡をみるときの視点と注目すべきポイント~
小林記念病院 褥瘡ケアセンター長 古田 勝経

(ポスター会場)

11:10~12:00 **一般演題(ポスター発表)**
座長 医療法人茜会 昭和病院 薬剤部 川崎 美紀
P-01 イノバンの点滴漏れによる潰瘍発生に Furuta methods を応用した一症例
医療法人嘉健会 思温病院 松岡 泰次 ほか2名
P-02 外来受診から退院まで、薬剤師が中心的に褥瘡治療に携わった一症例
医療法人嘉健会 思温病院 薬剤部 山本 千尋 ほか4名

P-03 処方箋コメントに外用薬の使用方法の要点を記載する試み

—医薬連携の推進を目指して

TMG あさか医療センター 皮膚科 倉繁 祐太

P-04 壊死組織を除去するヨードホルムの毒性およびラジカルの消去能に関する知見

金城学院大学薬学部 下島 弓乃 ほか2名

P-05 一歩踏み出して、「褥瘡治療は見ないことには始まらない！」2症例報告

(有)ソレイユ しおみ薬局 築地 美由樹

P-06 Good Bye 褥瘡！～みんなで取り組む褥瘡ケア～

並木病院 看護部 鈴木 麻里 ほか7名

P-07 外用剤の適正使用への取り組み

信愛医療療育センター 佐竹 純衣

P-08 強迫性障害患者のアトピー性皮膚炎を寛解させ退院へと導いた一例

特定医療法人生仁会須田病院 薬剤部 定岡 邦夫 ほか4名